

市長との約束 2025



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

危機管理監

高橋 勇幸

約束内容	防災力の強化による市民の安全確保
達成目標	近年、頻発化・激甚化する自然災害等により、市民の尊い生命が失われることのないよう、更なる防災力・減災力の向上を図ります。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	○防災行政無線や防災ポータル、SNS等を効果的に運用し、防災情報を発信してまいりました。特に、導入2年目となる防災ポータルは、3月4日現在で市LINE登録数23,366件まで増加しており、市民の認知が広がりつつあるものと捉えています。 ○自主防災組織へ資機材の提供や防災士（消防署含む）を50回派遣するなどの活動支援を行うとともに、本年度から7地域すべての総合支所において総合防災訓練を実施し、防災関係機関や自主防災組織との連携を確認するなど、地域防災力の底上げを図りました。

約束内容	地域防災の中核となる消防団員の確保と体制の維持・強化
達成目標	近年、即時対応力や動員力の礎となる消防団員の減少が顕著に進んでいる状況にあり、大規模・複雑化する自然災害において、市民の安全・安心を確保するには減少の抑制が急務となることから、団員の確保を図りつつ、活動体制の強化に取り組みます。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	○今年度、宮城誠真短期大学の協力により10名が学生消防団（計20名）に加入、一年を通して、訓練支援や予防広報に活躍いただいた。なお、学生消防団から2名が正団員として入団。 ○持続可能な消防団運営を目的に、消防団整備計画の見直しを実施。班の統合や団員の確保策、処遇改善等を検討し、早速、本計画に基づき、年額報酬の引き上げを実施しています。 ○新たに、令和7年5月1日から「消防団LINE参集ツール」を運用開始し、災害時の迅速な団員要請により、円滑な災害対応を図りました。

約束内容	交通死亡事故の抑制
達成目標	市内における交通死亡事故「年間ゼロ」を最大の目標とし、効果的な活動や事業を積極的に推進し、市民の交通安全意識を高めます。併せて、増加傾向にある特殊詐欺等に対する市民の防犯意識の高揚を図ります。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	<p>○春秋県民総ぐるみ運動、交通安全広報、啓発チラシ配布など、関係機関や団体と連携し通年で実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年大崎市死亡事故3件（前年同数） ・交通死亡事故「ゼロ」達成歴 <ul style="list-style-type: none"> 松山地域：3,000日（2月8日） 三本木地域：2,500日（3月9日） 鳴子温泉地域：500日（4月14日） 鹿島台地域：500日（11月26日） 大崎市：6カ月（12月20日）